

# 仁摩電器株式会社

## ■事業

## 新事業拡大に向けたワイヤーハーネス生産体制のプロセス改善計画

## ■対象類型

## ものづくり技術

## ■導入機械装置

電動ロータリーストリッパー(RS2400)、高精度 画像寸法測定器(LM-1000/1100)、小寺全自動電線切断皮剥機(キャストینگ(C371A))、デジタルカッター(ZKC-325T)

## 経営理念

魂を磨く

《行動指針》『人間魂』と『企業魂』

## 大手家電メーカーの共栄会社として発展 3代目のトップセールスで事業を多角化

1967(昭和42)年の創業以来、大手家電メーカーの共栄会社として、自動車向け雑音防止用コンデンサの製造に注力し、成長してきた仁摩電器株式会社は、グローバル化やリーマンショックなどの影響で受注が減り始めてからは、既存事業の枠にとらわれない多角化を積極的に進めてきた。

特に、創業者の長男、大畑拓治社長が3代目を継いだ2013(平成25)年以降の動きは目覚ましい。「雇用を守るために無我夢中で新事業展開を進めました」と大畑社長。県内外各地に出向いてトップセールスをかけ、名刺交換した人の数は5000を超える。どんな需要にも対応するという柔軟な姿勢で、アルミナパンプレート製造や境界杭キャップの磁石付け、配電盤の製作などから、そばなどの食品分野まで、ものづくりの精神を生かしたさまざまな仕事に挑戦してきた。「5000人に営業をかけても仕事に結びつくのは数パーセント。それでも、閉塞感が漂っていた社内に風が吹き、社員の顔つきも変わっていきました」。新たな取引企業から幅広く良い影響を受けている。

## 各種設備の電動化や高精度測定器の導入で ワイヤーハーネス加工の量産化と高精度化を実現

軌道に乗るようになった新規事業の一つが、ワイヤーハーネス加工。元々、県内の企業からの制御盤の製作や食品設備会社からの依頼で挑んでいた仕事だったが、ワイヤーハーネスやハーネス加工用機械・部品などの製造販売を行っている関西の大手メーカーからの受注を獲得。ガス警報器部品の生産委託を行うことになった。

しかし、従来の設備体制では大手からの大量注文に対応することが難しかった。電線の切断や先端被覆部の削り取り、ハンダ付けも一つ一つ手作業で実施。時間がかかるだけでなく、品質が不安定なため、ロスが多いことも難点だった。そこで電動ロータリーストリッパーや全自動電線切断皮剥機、高精度画像寸法測定器などを導入。ハンダあげ後の直径が0.8ミリ以下まで可能となり、不良率も25%から5%に大幅に低減した。1日の生産数が従来の約3倍の300本となるなど、量産化を実現。長年の営業努



大畑拓治 代表取締役



1、2 導入した設備を活用する社員  
3 社内の作業風景



力と磨き上げてきた技術力が信頼を勝ち得た上、コロナ禍で海外がロックダウンとなったことも追い風となった。

## 半世紀以上培ってきた技術力生かし 創意工夫で挑戦し続ける

設備強化と大型契約の獲得を受け、大畑社長が狙う次なる展開は、顧客への多品目営業。「ガス警報器に加え、蓄電池やエアコン室外機の配線など、他の部品へもプッシュをかけています」。また、ワイヤーハーネス加工だけでなく、配電盤やアルミ製作など実績を積んできた他の技術に関しても、販路拡大を推進している。取引先の影響で約25年前にはISO9001を取得するなど、品質管理や生産管理には早くから注力。大畑社長は「グローバル化が進む中、物流が悪い立地という悪条件にもかかわらず、社長就任後の9年間、事業の幅を広げることで、リストラをすることなく経営を続けてこられた。仁摩地区に働く場所を残すのは、私の使命。10～20年後を見据えて、挑戦を続けたい」と意気込む。

## ■Company Data

## 仁摩電器株式会社



会社外観

代表者名：大畑拓治  
設立年：1967(昭和42)年  
資本金：10,000千円  
従業員数：42名  
主たる業種：電気機械器具製造業  
本社：〒699-2301 大田市仁摩町仁万705  
電話：0854-88-2347  
FAX：0854-88-4035  
URL：<https://nimaden.co.jp/>